

木造伝喜山性讚坐像



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうでんきさんしょうさんざぞう
所在地	矢掛町横谷 洞松寺
指定年月日	平成12年3月28日
解説	木造寄木造、胡粉地彩色、玉眼、挿首、総高81cm。喜山性讚は信濃国出身の曹洞宗の僧侶で、応永19年(1412)備中猿掛城主庄氏の帰依を受け、洞松寺を開創した。師匠の恕仲天ぎんを開山に招き、自らは2世となって、この地で31年間布教し、弟子の育成に努めた。室町時代中期の作。
アクセス方法	
公開状況	非公開
設備	
備考	